

青山学院大学総合研究所創立 20 周年記念特別研究プロジェクト
「科学技術の発展と心的機能から探る安全と危険のメカニズムに関する総合研究」

公開講演会

医療機器の高度化に伴う安全と危険

～病院・在宅医療における機器の発展と人間の思い込み～

現代の医療は高度に進んでいます。その要因の一つが高度に発展した医療機器にあります。一方で、次々と高度化された医療機器を操作するに当たりさまざまな問題点が指摘されています。医療機器とそれを操作する人間側の安全と危険への意識についてどのような問題があるのか、「安全と危険の境界」「安全な医療を受けるには」どのような問題があるのか、などについて取り上げます。さらに、在宅医療を受けるお年寄りが急増しています。在宅医療における安全と危険に関わる問題を考えることも大切です。本講演会ではこれらの問題について、専門家に現場で行われていることなどの具体的事例を交えながらお話していただきます。

日時： 2008年6月18日(水) 午前11:00～12:30

場所： 青山学院大学青山キャンパス 総研ビル 603 教室（聴講無料）

講師： 松永 直子氏 東京医科大学八王子医療センター集中治療室看護師を経て、現在神田訪問看護ステーション所長

JR 山手線、東急線、京王井の頭線「渋谷駅」宮益坂方面の出口より徒歩約 10 分地下鉄「表参道駅」B1 出口より徒歩約 5 分



お問い合わせ

青山学院大学総合研究所事務室
東京都渋谷区渋谷 4-4-25
info@ri.aoyama.ac.jp

